北広島市地震ハザードマップ

地域の危険度マップ

地域の危険度マップは、「揺れやすさマップ」で示した強さの揺れとなった場合に、建物に被害が生じる程度を「危険度」として表したものです。「危険度」は、地震時に全壊する建物の割合を表示したものです。
なお、危険度マップは、地震による個々の建物の危険度を表したものではなく、各地域の建物被害を相対的に表示したものです。

危険度の区分

危険度は、建物の構造（木造・非木造）や建築年次により区分し、地域（町丁目）ごとで建物の全壊する割合（建物全壊率）を算出したものです。震度が同一の場合では、古い建物や木造の建物が多い地域ほど、建物全壊率が高くなります。

危険度	建物全壊率
1	0 ～ 1％
2	1 ～ 2％
3	2 ～ 4％
4	4 ～ 6％

（平成20年1月1日現在）

地震発生時の行動のポイント

経過時間	ポイント
緊急地震速報又は地震発生	**最初の大きな揺れから身を守る** ●まず、身を守る 机の下などへ。あわてて外へ飛び出さない。 ●すばやく火を消す 危険が伴うので無理はしない。 ●脱出口を確保する ドア、窓を開ける。家がゆがむと開かなくなることがある。
発生 1～2分	**揺れがおさまったら まず火の始末** ●火元を確認する 火が出たら落ち着いて初期消火。 ●家族の安全を確保する 倒れた家具の下敷きなどでケガをしていないか。 ●靴をはく 室内に散乱したガラスの破片などから足を守る。 ※がけ崩れのおそれがある地域はすぐ避難
発生 3分	**隣近所の安全確認 火災の発生を防ぐ** ●隣近所に声をかける けが人・行方不明者の確認、救出・救護。 ●近所に火が出ていたら初期消火 大声で知らせる。 消火器を使う。 バケツリレーをする。 （普段から、風呂に水をためておく） ●余震に注意
発生 5分	**ラジオなどで正しい情報を入手** ●正しい情報をつかむ ラジオや市役所、自主防災組織の情報を聞く。 ●電話はなるべく使わない 緊急連絡電話が優先。安否確認は「災害用伝言ダイヤル171」で。 ●家屋倒壊などの危険があれば避難 避難をするときはガス栓をしめ、ブレーカーを落とす。
発生 10分 発生 数時間 発生 3日くらい	**協力して消火 救出・援護活動** ●助け合いの心が大切 力を合わせて消火活動、救出・救助活動 ●水・食糧は蓄えているものでまかなう 3日分の飲料水と食糧を備蓄しておく。 ●壊れた家には入らない 無理をして、二次災害を起こしてはいけない。 ●災害情報・被害情報の収集 引き続き余震に注意

耐震診断について

地震が発生した場合、建物が倒壊する割合は、古い建物ほど高くなりますが、特に木造住宅では高い傾向にあります。
昭和56年5月以前の建築基準法、いわゆる旧耐震基準で建てられた住宅は、耐震性が低い可能性がありますので、専門家による耐震診断を行うことをお勧めします。
北広島市では、旧耐震基準の一戸建て木造住宅を対象に、耐震診断を平成20年度から、耐震改修は平成21年度から費用の一部に対して助成を行います。

収容避難所一覧（北広島団地地区）

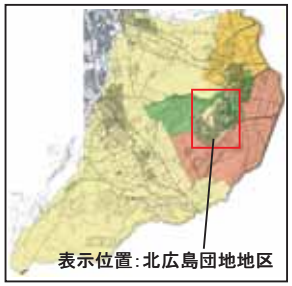
名　称	所在地	電話番号
緑陽小学校	緑陽町1丁目2	373-6447
緑陽中学校	緑陽町3丁目4	372-2239
高台小学校	高台町2丁目1	373-3330
すずらん保育園	高台町7丁目4	372-2277
北広島団地住民センター	泉町1丁目1	372-0676
若葉小学校	若葉町3丁目12	373-5665
広葉小学校	広葉町3丁目1	373-2801
広葉中学校	広葉町5丁目1	373-4918
すみれ保育園	広葉町2丁目4-1	373-5660

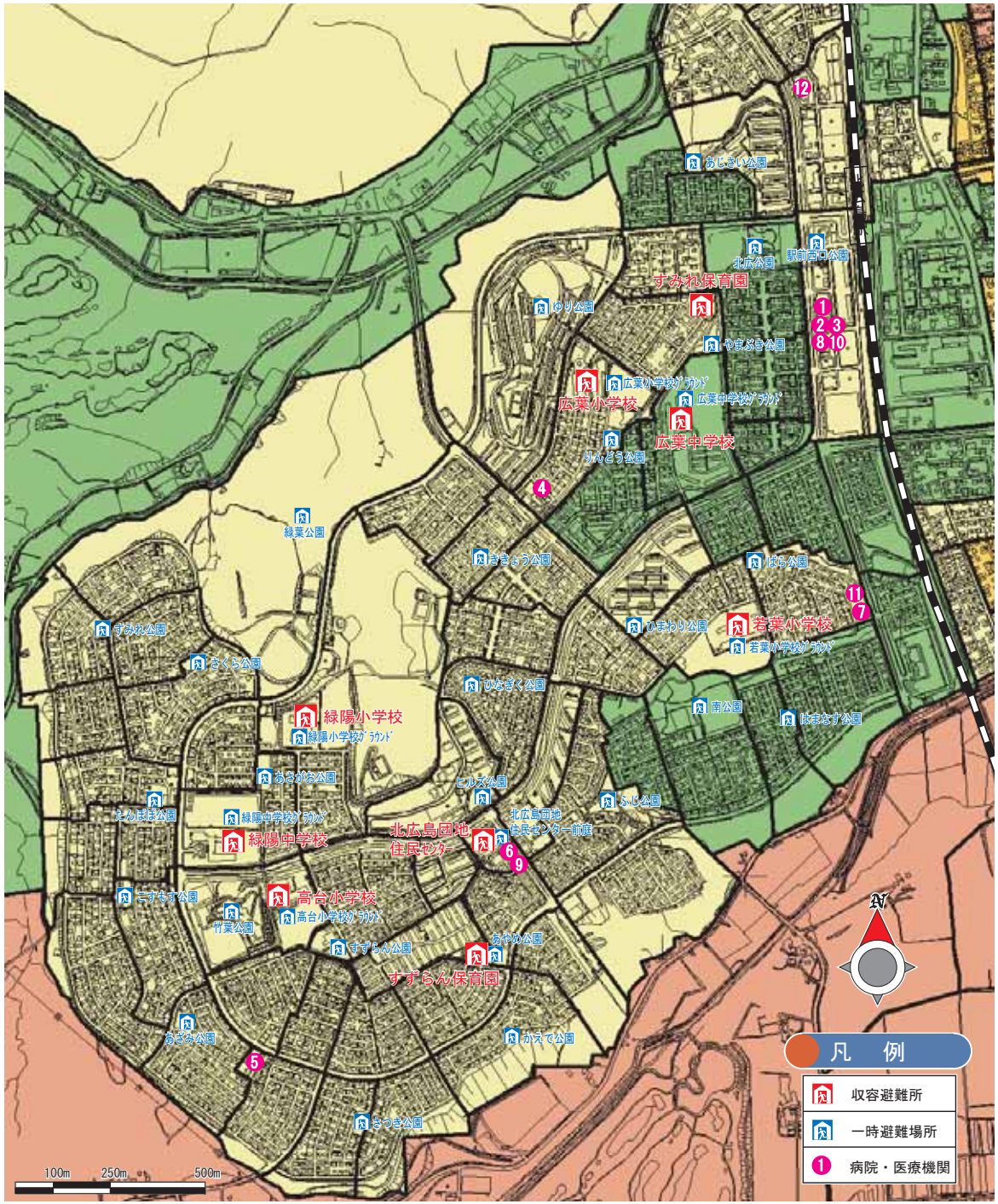
医療機関一覧（北広島団地地区）

番号	医療機関名	所在地	電話番号
①	北広島病院	栄町1丁目5-2	373-5811
②	北広島眼科	栄町1丁目5-3	373-1023
③	北広島耳鼻咽喉科	栄町1丁目5-3 ※	376-8133
④	広葉クリニック	広葉町3丁目9	372-3900
⑤	さいとうクリニック	里見町4丁目5-1	372-2288
⑥	高台内科胃腸科クリニック	泉町1丁目2-6	372-1001
⑦	北進内科胃腸科クリニック	青葉町3丁目11-4	373-1122
⑧	みよしレディースクリニック	栄町1丁目5-3 ※	373-8500
⑨	渡辺小児科	泉町1丁目2-7	372-2755
⑩	和田皮膚泌尿器科	栄町1丁目5-3 ※	373-7333
⑪	やまと皮膚科クリニック	青葉町3丁目11－11	376-8612
⑫	北広島市夜間急病センター	北進町1丁目5-2	372-1101

※ 北広島ビル2F

危険度マップ表示位置図



地域の危険度マップ：北広島団地地区

1:12,000